

## 平成 30 年度 第 1 回総務委員会 議事録

■日時 平成 30 年 7 月 10 日（火） 13 時 00 分～14 時 00 分

■場所 代協事務局

■出席者 総務委員長 今西 英人（専務理事）

委員 横川 優（安房） ・福原 義一（市原） ・安藤 康子（京葉） ・秋元 浩（千葉）

池辺 晃司（東葛） ・石井 清（北総） ・八木 優（茂原）

■欠席者 坂井 健治（木更津） ・鈴木 正雄（銚子）

### 議 事

#### 議事

##### 1. 自己紹介

委員長挨拶：今年度より総務会計を担当することになりスムーズな運営を心掛けたいのでご協力をお願いしたい。

初回ということで委員の自己紹介を行う。

##### 2. 本年度支部活動費の件

○委員長より今年度の活動費の基礎となる各支部の 3 月末時点での正会員数の確認とオートグラス会の分配金の案内があった。銚子の横川委員より、賛助会員・一般会員の質問があり、再度人数の精査の上、確定の一覧表をメールで送ることとした。

○委員長より 7 月 17 日の週に支部活動費を振り込む予定で取り組むとの意思表示があった。

○支部活動費の消費の確認のため、12 月ごろに消費率の報告をお願いしたい旨の説明があり、各委員の了承を得られた。

### 3. 会計注意事項（セミナー講師源泉税 他）

○顧問税理士より指摘のあった講師謝礼時の源泉所得税について委員長より説明があった。

○東葛の池辺委員より、法人の講師の場合の取り扱いについての質問があり、法人の講師には源泉しなくてもいいとの見解は委員長より示された。

各委員とも個人の講師のセミナー謝礼時は源泉を加味したうえでの金額で支払うように確認した。

### 4. 西日本豪雨災害のお見舞い義援金等のついて

○日本代協事務局よりお見舞い及び義援金の支援のメールもあり、千葉代協でも協力すべきとの見解。

今後、CSR委員会を中心に募金活動の実施を考えて頂くこととする。

### 5. その他

○災害時の千葉代協の危機管理のBCPマニュアル策定は今期の企画環境委員会の事業計画であるが、懸念されることについてフリーでの討議を行った。

- ① 災害時の行動基準の統一化が必要
- ② 被災代理店向けの電話・パソコン等の場所確保と発電設備の準備（蓄電バッテリー3万ぐらい？）
- ③ 他の近県代協との連携を強化すべき
- ④ SNSの活用・手回しで発電出来る器具のノベルティ化はどうか
- ⑤ 代理店結束のための方策を考える 等

様々な意見があり、策定までのハードルは高いと思われるが、今後の企画環境委員会での討議の参考にしていただければと考える。

以上